

# ひめた高松ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No.1095

16.3.23

## 2月定例会市議会報告

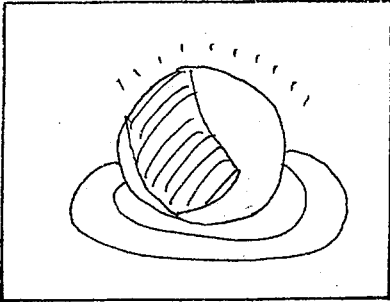
3月23日(水)2月定例会市議会が終わりました。日本共産党市議員は、市長が提案した62件の議案のうち47件に賛成、15件について、南畑さち代議員が反対討論で問題点を指摘しました。今号は、予算に関する反対討論について報告します。

## 事業のあり方、進め方に問題

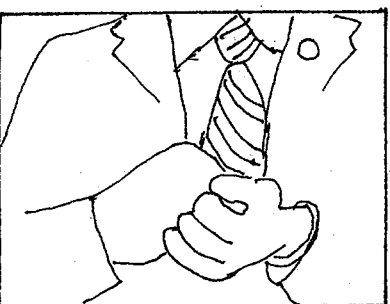
議案47号「一般会計予算」です。今年8月1日までのもの医療費や中学校授業料で減免も無料にするという多くの市民が制度拡充を求めたもので、ぜひ提案された予算のすべてに反対する

住宅2課の管理する改良住宅の正しくベーター管理報償金は廃止され、管理人手当てより減額されましたが、このような手当は出すべきではありません。景観計画や都市計画マスタープランの見直し調査委託料について、必要部分があるとはいえ、ほとんどを委託する姿勢が問題。民間主導の市街地再開発事業には億3396万6千円を補助する事業について、市民生活にどう役立つのか明確に答えてはなりません。特定地域に限定した地域も、一般会計予算5000万円は聖域としておく問題です。

フリーの人々 (898)



きっと大きなおにぎりをにぎれるやろね



カあわせ 未来のこころ 日本共産党

## 特別の「公営企業」会計問題あり

議案47号「国民健康保険事業特別会計予算」は、市民の高すぎる保険料を引き下げたいとの要望に応え、

## 今週のフリーの人々 (その41)

共産党の新しいポスター 3月16日、日本共産党の山下書記局長が参院選に向けた新しいポスターを発表しました。戦争法(安保法制)廃止、立憲主義回復に向けて野党の共闘、市民との共同を安倍政権を倒して、希望ある未来をひいていこうとメッセージを込めたこと。 「カあわせ 未来のこころ」の文字と共闘のイメージを強調したポスターが、

厚紙のポスターです。この手のポスターは、手話で「ぜひ」という意味があるそうです。これまでの2倍、印刷したので「ぜひ」貼り出しに協力ください。 このポスターを見て、50年以上前の子どもの頃、しもやけでひび割れた母に交わって父に作ってもらったおにぎりのことを思い出しました。ママ、フリーの皆さん、ぜひ思いを込めてください。



ひめた高松

るために毎年億円、一般会計から繰り入れる計画があるのに当初予算には億円しか計上しないという予算の持ち方、分譲が進まない事業のあり方に問題。

議案59号、住宅改修資金貸付事業特別会計、52号、住宅新築資金貸付事業特別会計、53号、宅地取得資金貸付事業特別会計の3事業予算は、繰入金額の回収率に依然低い状態で、事業の

あり方に問題が及びます。議案59号、駐車場管理事業特別会計予算は、本来、収益を生むとしておめた事業でしたが、管理赤字を抱えるなど事業のあり方が問題です。

議案55号、下水道事業特別会計予算は、国(総務省)の通知により2008年度を目標に公営企業会計に移行することを前提に固定資産管理システムの構築予

算が計上されています。しかし本市の下水道施設は38.2%で、62億円の赤字を抱えており、公営企業化させる状況ではありません。

議案59号、介護保険事業特別会計予算は、高い保険料の改革が求められていることや、所得160万円以上の方の介護サービスが2割負担になるなど、重い負担が軽減されていきます。

# こどもたちは



「義務教育は無償」に

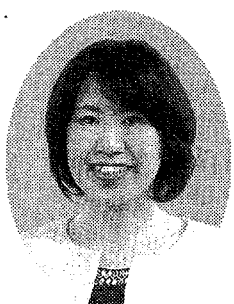
先日、卒園式から帰る親子を車窓から見ました。飛び跳ねるうちに歩く子どもの姿に、来月の入学式を楽しみにしている様子などがうかがえて私まで嬉

しくなりました。

入学式を迎えることたくさん入学用品の準備が必要で、中学になると制服やカバンなど9万円ほどに……。払えなくて入学式に来れない子どももいると聞きました。日本は、国内総生産に占める教育機関への公的支出はたった3.5%、OECD加盟国32か国中最下位です。世界3位の経済大

国にも関わらず子どもに

費やす予算が少なすぎます。憲法26条之項で「義務教育はこれを無償にする」とあります。憲法を守って政治をするというあたりまえの社会をつくらなければならないと思います。



坂口 美子 (参院選 区)

## 戦争法廃止200万人署名

戦争法廃止・2000万人署名を実現する和歌山南地区の会が日曜日に取り組んだ署名行動について、事務局の山形さんに報告文をいただきました。

3月20日、紀三井寺団地集会所に17名が集まり、7組に分かれて約1時間、1008筆の署名が集まりました。ひめだ市議は、みんなが家庭を訪問している間、ハンドサインで「戦争法廃止を、憲法9条を守ります」と訴えました。

の負担金が計上されています。多目的ダム法により国のズサンな計画に追随せられた結果、その負担が水道会計を圧迫しています。無計画な国の責任を問いつつ、国に負担を求めようとしています。

小学校4年で戦争法を知えたという女性は、「ドイツで民主的憲法を適用したトラパーは独裁国家をつくった」といって報道を見て、日本も危ないのではと

心配している」「知り合いに署名を頼んでみる」と返信用封筒と署名用紙を預かってくれました。

3500世帯に署名用紙とお願ひ文書を事前に配布。14軒で待っていてくれた、話ができたらお刺の方が署名してくれました。

署名を断る人もいました。が、憲法9条への関心の高さを感じ、署名の中で「今度の選挙は本当に大事」と話のできる状態でもありました。

事務局 山形由廣

事務局 山形由廣